

# 鳴和県営住宅 1～4号棟



住戸内・住棟・屋外空間をも含め高齢者居住に適した住宅供給を行った。また、敷地背後の河川遊歩道と近隣住宅街の動線を考慮して、それらの交流を促す住棟配置とした。その他、金沢らしい景観への配慮、自然エネルギーを積極的に導入できるような様々な工夫を取り入れた。

(全体 66戸)



車寄せ



エレベーターホール



台所



リビングルーム



#### ■高齢化対策

ユニバーサルデザインを積極的に活用し、高齢者でも安心して住み続けられる居住環境を目指した。また、全住棟を渡り廊下(ブリッジ)で連結し、上階においても高齢者が安全・快適に居住できる住棟を目指した。

#### ■少子化対策

子供たちの遊び場として、団地内に芝生のふれあい広場を設けた。また、各階の連絡通路部分にはベンチを設置し、親子・同世代・異世代が交流できるような空間を設けた。

#### ■住宅性能

長期耐用性能を確保し、住宅品質確保促進法による住宅性能評価を実施した。長寿命の躯体と内装を明確に分離した構成(スケルトンインフィル分離方式)とした。躯体より寿命の短い内装、設備を後から更新しやすいよう配慮した。維持管理の容易性も考慮し、住戸内の給水・給湯にはさや管ヘッダー方式を採用した。

#### ■景観・まちづくり

城北大通りに残る金沢らしい旧家の町並みに調和した勾配軒先屋根を採用した。団地内には、通り抜け動線を確保し、地域住民とのふれあいを図れるよう配慮した。また、前面道路側は敷地の一部を歩道として提供し、快適な歩行スペースをつくった。

#### ■環境共生-サステナブル建築

住宅次世代省エネルギー基準を遵守し、外断熱工法の採用により省エネルギー化を図った。軒の出、建物配置計画により、太陽の日射量を夏期は軽減し、冬期は有効に活用する。西側は閉じた配置計画とし、冬期の西風を制御した。

#### DATA

##### ①居住施設

金沢市鳴和1丁目地内

(1号棟)平成20年11月～平成21年10月

鉄筋コンクリート造:地上4F 28戸

のべ1,612.04㎡

(2号棟)平成20年11月～平成21年10月

鉄筋コンクリート造:地上4F 13戸

のべ1,247.50㎡

(3号棟)平成22年10月～平成23年3月

鉄筋コンクリート造:地上4F 13戸、集会室

のべ1,138.21㎡

(4号棟)平成22年10月～平成23年3月

鉄筋コンクリート造:地上4F 12戸

のべ671.22㎡